

組織名	青森公立大学地域連携センター
-----	----------------

1 組織概要

所在地	青森県青森市合子沢字山崎153-4
TEL	017-764-1589
FAX	017-764-1593
URL	http://www.nebuta.ac.jp
e-mail	renkei@b.nebuta.ac.jp
設立	2011年4月1日
設置都市等	公立大学法人 青森公立大学
代表者	香取 薫(センター長/青森公立大学長※兼務)

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	1998年、青森公立大学の附置研究機関として地域研究センターが開設された。その後、大学法人化に伴い組織の変更があり、2011年4月に新たに地域連携センターが設立され、地域研究センターは地域連携センターの下部組織となった。2018年4月に、地域研究センターは地域連携センターに統合された。
見直しの動向	2005年度より、活動をより一層、組織的に展開するとともに、「研究」「教育」「コンサルテーション」「インキュベーション」の4つを事業活動の柱とし、活動基盤の整備および展開に着手した。これに伴い、事業活動をさらに展開していくとともに、外部関係機関とのプロジェクト、市民との共同研究や事業の企画、実施を進めている。
役割(2020年時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究…広域的な地域研究の拠点、市民・企業・行政との共同研究の場となる。 ○教育…地域社会の幅広い年齢層や職業の方々の学びに貢献する(講演会、公開講座)。 ○コンサルテーション…地域の諸活動(自治体、企業)への情報提供や助言活動を行う。 ○インキュベーション…地域社会事業や活動に対し、多角的な視点から支援、協力する。
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input checked="" type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	7人
うち常勤研究員数	2人
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	研究所内で専任の事務局職員が担当している。
市民参加、外部連携	県内自治体をはじめ、産官学金連携との協定を締結し、連携して活動を行っている。

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2020年度予算	11,816 千円	
2019年度決算	9,105 千円	
2018年度決算	10,956 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金等収入
	2位	その他(具体的に:目的積立金取崩収入)
	3位	その他(具体的に:授業料等)
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	地研ニューズレター(年1回)
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	地域連携センター長が統括し、兼任研究員(学部・大学院担当教員兼務)が自ら発案した研究プロジェクトを行っている。専任研究員は、自らの研究の他、その他の地域連携センター事業を担当している。
研究員の専門性育成の手立て	
研究員のキャリアパス等	
その他	○当センターは青森公立大学大学院棟にあるが、青森駅前アウガ6階に「まちなカラボ」(多目的サテライト)を設置し、必要に応じて2拠点で活動している。

5 2020年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
青森県の人口減少対策としての「特定技能」外国人材について～ベトナム人の人材を中心に～	この事業目的は、青森県内の主要産業における人手不足解消のために、外国人材に注目してその現状と課題を把握するものである。 https://www.nebuta.ac.jp/for-general-region/regional-contribution-efforts/regional-contribution-performance2020
浅虫地域力の強化	本プロジェクトは、青森公立大生と浅虫住民が共同で企画・実施するイベントを通じて「和」のコミュニティを築き、「WA」(Wonderful Asamushi)の魅力を再発見し、一般市民をはじめ国内外の人々へ発信することにより、浅虫の「輪」を広げることを目的としている。 https://www.nebuta.ac.jp/for-general-region/regional-contribution-efforts/regional-contribution-performance2020

<p>少子高齢化地域における生業および生活の在来知に関する再評価と活用</p>	<p>研究事業「少子高齢化地域における生業および生活の在来知に関する再評価と活用」のため、2020年度には、青森県における人と雑穀の関りを、農と食の観点から検討した。具体的には、雑穀栽培が古来より行われ、文化社会と密接に結びついてきた青森県において、明治末期以降の雑穀栽培および食文化の変遷を明らかにし、今後の雑穀利用の展開を考察した。</p> <p>https://www.nebuta.ac.jp/for-general-region/regional-contribution-efforts/regional-contribution-performance2020</p>
<p>ツーリズムにおける英語での発信力習得システムの研究事業</p>	<p>現在、教育の「時間」と「場所」の拡大の可能性を期待される遠隔授業であるが、近年では様々な遠隔授業に関する事例検証により、その有効性と共に幾つかの弱点も指摘されている。本事業の目的は、今後機会の増加が予想される遠隔での英会話レッスンシステムの試行を行い、その効果的な運用方法と可能性について考察することである。</p> <p>https://www.nebuta.ac.jp/for-general-region/regional-contribution-efforts/regional-contribution-performance2020</p>